

1 課題

- 全ての評価項目でⅢ・Ⅳとなっており、発足から1年という期間を考慮すれば、課題があると思われるが、小項目の評価では顕在化していない。

2 以上が起こる理由

- （1）評価項目が、本当に評価すべき観点である以下の大きな3要素で整理されておらず、総体的な結果が見えにくい。

- ①動物園の本来事業（飼育・施設整備・教育・調査研究 等）
- ②動物園の魅力向上（来園者サービス・イベント 等）
- ③経営・組織・運営（予算・人材・内部統制 等）

- （2）中期目標期間は5年間であるが、5年間トータルで達成すべき指標が明らかでなく、中期目標の達成度・達成率といったものが不明確である。

3 対応策（案）

次回評価までに、①～③ごとに5年間でめざす姿を具体化し、個々の項目の評価時にはその姿を念頭に置き、達成度なども含めた評価を市・法人ともに行う。

⇒具体的な手法は今後、市と法人で調整

【参考】現在の大項目と3要素の対応関係

